



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 3591 URL <https://www.wacoalholdings.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 矢島 昌明  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 廣岡 勝也 TEL 075-682-1010  
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	48,789	△0.5	2,371	△0.3	2,727	10.4	4,004	11.8	2,885	16.6
2023年3月期第1四半期	49,027	15.5	2,378	21.2	2,469	0.5	3,580	23.4	2,474	—

	親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額		基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	2,844	18.0	13,222	59.6	49.03	48.82
2023年3月期第1四半期	2,411	—	8,286	—	39.28	39.12

(注) 1. 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

2. IAS第12号「法人所得税」（2021年5月改訂）の適用に伴い、2023年3月期第1四半期について遡及適用後の数値を記載しております。なお、四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益及び四半期包括利益合計額の2023年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円		百万円		百万円	%
2024年3月期第1四半期	296,731		224,369		220,907	74.4
2023年3月期	285,659		213,482		210,197	73.6

(注) IAS第12号「法人所得税」（2021年5月改訂）の適用に伴い、2023年3月期について遡及適用後の数値を記載しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	103,000	5.6	4,500	3.6	4,400	10.0	5,500	△6.5	3,900	△7.5	67.23
通期	205,000	8.7	6,000	46.3	6,000	—	7,000	—	4,800	—	82.74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 12「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	61,000,000株	2023年3月期	64,500,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,989,790株	2023年3月期	6,487,185株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	58,010,347株	2023年3月期1Q	61,372,313株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	P. 5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	P. 6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	P. 8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	P. 10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 12
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 12
(会計方針の変更) .....	P. 12
(セグメント情報) .....	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

① 当第1四半期の業績

(単位：百万円)

	2023年3月期 第1四半期 連結累計期間	2024年3月期 第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
<b>売上収益</b>	<b>49,027</b>	<b>48,789</b>	<b>△238</b>	<b>△0.5%</b>
売上原価	20,346	20,939	+593	+2.9%
<b>売上総利益</b>	<b>28,681</b>	<b>27,850</b>	<b>△831</b>	<b>△2.9%</b>
販売費及び一般管理費	26,303	25,479	△824	△3.1%
<b>事業利益</b>	<b>2,378</b>	<b>2,371</b>	<b>△7</b>	<b>△0.3%</b>
その他の収益	608	446	△162	△26.6%
その他の費用	517	90	△427	△82.6%
<b>営業利益</b>	<b>2,469</b>	<b>2,727</b>	<b>+258</b>	<b>+10.4%</b>
金融収益	986	1,020	+34	+3.4%
金融費用	77	79	+2	+2.6%
持分法による投資損益	202	336	+134	+66.3%
<b>税引前四半期利益</b>	<b>3,580</b>	<b>4,004</b>	<b>+424</b>	<b>+11.8%</b>
<b>親会社の所有者に帰属する四半期利益</b>	<b>2,411</b>	<b>2,844</b>	<b>+433</b>	<b>+18.0%</b>

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年6月30日）における当社グループの国内の経営環境は、物価上昇を背景とする選別消費の高まりなどが影響し主力ブランドの販売が伸び悩んだことや原価の高騰を受け、厳しい状況となりました。海外については、欧州は引き続き主要ブランドに対する顧客からの支持の高まりを背景に堅調に推移しました。一方、中国は新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の影響を大きく受けた前年同期から改善を果たしたものの、来店客数の戻りは弱く、売上は想定を下回りました。米国は、物価上昇率の落ち着きなどとともに消費回復の動きが見られましたが、得意先における在庫調整や一部ブランドの販売不振などにより計画を下回りました。

このような状況の下、当社グループにおいては、当連結会計年度の重点課題として掲げている「収益性と資本効率の改善」に向けて、国内では「ブランド戦略と顧客戦略の再構築」ならびに「コスト構造改革のスピードアップ」、海外では「EC事業の強化」ならびに「各市場の特性に応じた商品力の強化」に取り組んでいます。なお、PBRの改善に向けた方針や目標・管理指標、具体的な取組み、実行の時間軸については、2023年11月中旬頃に開示する予定です。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上収益は487.9億円（前年同期比0.5%減）、事業利益は23.7億円（前年同期比0.3%減）となりました。営業利益は、前年同期にその他の費用として子会社整理に伴う一時的な費用計上があった裏返しなどから、27.3億円（前年同期比10.4%増）となりました。税引前四半期利益は40.0億円（前年同期比11.8%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は28.4億円（前年同期比18.0%増）となりました。

なお、当該期間の為替換算レートは、1米ドル＝137.37円（前年同期129.57円）、1英ポンド＝171.91円（同162.96円）、1中国元＝19.56円（同19.58円）です。

② 報告セグメントの営業概況

(単位：百万円)

	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	構成比	第1四半期実績	構成比	増減額	増減率
売上収益合計	49,027	100.0%	48,789	100.0%	△238	△0.5%
ワコール事業（国内）	24,495	50.0%	23,774	48.7%	△721	△2.9%
ワコール事業（海外）	18,192	37.1%	18,836	38.6%	+644	+3.5%
ピーチ・ジョン事業	2,952	6.0%	2,770	5.7%	△182	△6.2%
その他	3,388	6.9%	3,409	7.0%	+21	+0.6%

(単位：百万円)

	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	売上比	第1四半期実績	売上比	増減額	増減率
営業利益（△損失）	2,469	5.0%	2,727	5.6%	+258	+10.4%
ワコール事業（国内）	810	3.3%	561	2.4%	△249	△30.7%
ワコール事業（海外）	1,367	7.5%	1,887	10.0%	+520	+38.0%
ピーチ・ジョン事業	384	13.0%	134	4.8%	△250	△65.1%
その他	△92	—	145	4.3%	+237	—

a. ワコール事業（国内）

当第1四半期連結累計期間における販売実績は、ブランドやチャネルごとに動向が異なり、強弱相半ばの状況となりました。物価上昇の影響を受けて選別消費の傾向が高まる中、高価格帯ブランドの「Yue（ユエ）」や「Salute（サルート）」は好調に推移した一方で、主力ブランドの「Wacoal（ワコール）」、「Wing（ウイング）」については主力商品の販売強化に向けて積極的なプロモーションを展開したものの、実店舗チャネルでの購買客数の増加に繋げることができず、苦戦しました。また、一部得意先における販売促進施策の縮小も売上に影響する結果となりました。他方、ECについては、自社サイトのユーザビリティ向上への取り組みや積極的な販促活動が寄与し増収となったほか、他社ECについてもECモール運営事業者との連携強化が奏功し伸長しました。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は237.7億円（前年同期比2.9%減）となりました。営業利益は、前期のフレックス定年制度の特別運用の実施に伴う人件費の減少などの寄与があったものの、減収や原価高騰の影響を吸収できず、5.6億円（前年同期比30.7%減）となりました。

b. ワコール事業（海外）

ワコールヨーロッパは、北米事業において得意先の仕入抑制の影響を受けましたが、ボディポジティブのムーブメントを背景に「Elomi」「Fantasie」ブランドの下着や水着の販売が堅調に推移した結果、現地通貨ベースで前年同期並みの売上高を確保しました。

ワコールインターナショナル（米国）は、Intimates Online, Inc.（以下、IO社）が大幅な減収となったことが影響し、前年同期を下回りました。IO社については、前年同期は成長に向けて積極的な販促投資を行ったものの販促効率が低迷し損失が拡大しましたが、当第1四半期連結累計期間は収益性の改善を優先し、販促投資を抑制した結果、訪問客数が低下し減収となりました。米国ワコールは、引き続き得意先の仕入抑制の影響を受けましたが、物価上昇率の落ち着きなどとともに消費者マインドの回復傾向が見られたことから一部百貨店で納品が進展し、前年同期水準の着地となりました。

中国ワコールは、前年同期に感染症に対する厳格な行動制限が実施されていた裏返しから増収となりましたが、行動制限の解除後も来店客数の戻りは弱く、想定を下回る回復に留まりました。

これらの結果に加えて、主要通貨が円安に推移したことから、邦貨換算後の当該セグメントの売上収益は188.4億円（前年同期比3.5%増）となりました。営業利益は、増収効果に加え、中国ワコールの黒字回復やIO社の赤字幅縮小などが寄与し、18.9億円（前年同期比38.0%増）となりました。

c. ピーチ・ジョン事業

当第1四半期連結累計期間については、セール商品の販売が好調に推移した一方で、コンテンツマーケティングの実施により販売強化に努めたプロパー商品の販売が想定を下回った結果、自社EC、直営店ともに前年同期を下回りました。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は27.7億円（前年同期比6.2%減）となりました。営業利益は、減収影響に加え、ECシステムの更新に伴う経費の増加などが響き、1.3億円（前年同期比65.1%減）となりました。

d. その他

当第1四半期連結累計期間については、ルシアンは大手衣料品チェーン向けのプライベートブランド商品の販売が低調に推移した結果、減収となりました。一方、七彩は大型案件の進捗や新規受注の寄与により増収となりました。また、Aiにつきましても、旅行関連需要の回復などを受け増収となりました。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は34.1億円（前年同期比0.6%増）、営業利益は1.5億円（前年同期は0.9億円の営業損失）となりました。七彩、Aiの売上回復に加え、前年同期にルシアン子会社の整理に伴う費用計上があった裏返しから、黒字回復となりました。

(参考) 主要子会社の売上収益・営業利益（△損失）

(単位：百万円)

売上収益	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	構成比	第1四半期実績	構成比	増減額	増減率
ワコール	23,127	47.2%	22,552	46.2%	△575	△2.5%
ワコールインターナショナル（米国）	8,154	16.6%	7,857	16.1%	△297	△3.6%
ワコールヨーロッパ	5,234	10.7%	5,551	11.4%	+317	+6.1%
中国ワコール	2,394	4.9%	2,982	6.1%	+588	+24.6%
ピーチ・ジョン	2,952	6.0%	2,770	5.7%	△182	△6.2%
ルシアン	910	1.9%	563	1.2%	△347	△38.1%
七彩	1,573	3.2%	1,877	3.8%	+304	+19.3%

※外部売上収益のみを記載しています。

(単位：百万円)

営業利益（△損失）	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	売上比	第1四半期実績	売上比	増減額	増減率
ワコール	1,027	4.4%	799	3.5%	△228	△22.2%
ワコールインターナショナル（米国）	503	6.2%	680	8.7%	+177	+35.2%
ワコールヨーロッパ	657	12.6%	628	11.3%	△29	△4.4%
中国ワコール	△362	—	15	0.5%	+377	—
ピーチ・ジョン	384	13.0%	134	4.8%	△250	△65.1%
ルシアン	△183	—	46	8.2%	+229	—
七彩	9	0.6%	29	1.5%	+20	+222.2%

（2）連結財政状態に関する説明

① 資産、負債、株主資本等の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、棚卸資産の増加や円安の影響でのれんが増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して110億72百万円増加し、2,967億31百万円となりました。

負債は、借入金や繰延税金負債が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して1億85百万円増加し、723億62百万円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、円安の影響で在外営業活動体の換算差額が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して107億10百万円増加し、2,209億7百万円となりました。

以上の結果により、当第1四半期連結会計期間末における親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末に比して0.8ポイント増加し、74.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して30億24百万円減少し、237億57百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期利益28億85百万円に減価償却費及び償却費や法人所得税費用などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、9億70百万円の収入（前年同期に比し18億67百万円の収入減）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入や有形固定資産及び無形資産の取得などにより、17億56百万円の支出（前年同期に比し7億29百万円の支出増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、リース負債の返済や配当金の支払などにより、31億24百万円の支出（前年同期に比し13億67百万円の支出減）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想については、2023年5月12日に公表した連結業績予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	26,781	23,757
営業債権及びその他の債権	20,215	20,269
その他の金融資産	1,804	2,881
棚卸資産	53,720	55,920
その他の流動資産	3,100	4,018
流動資産合計	105,620	106,845
非流動資産		
有形固定資産	46,702	47,163
使用权資産	12,260	11,986
のれん	16,256	17,846
無形資産	13,043	13,022
投資不動産	2,957	2,955
持分法で会計処理されている投資	20,499	21,395
その他の金融資産	50,195	56,073
退職給付に係る資産	13,978	15,494
繰延税金資産	3,316	3,056
その他の非流動資産	833	896
非流動資産合計	180,039	189,886
資産合計	285,659	296,731



（単位：百万円）

科目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	5,000	5,672
リース負債	4,661	4,570
営業債務及びその他の債務	17,535	15,499
その他の金融負債	1,172	1,243
未払法人所得税	1,683	358
その他の流動負債	13,791	14,441
流動負債合計	43,842	41,783
非流動負債		
借入金	3,084	3,325
リース負債	7,670	7,494
退職給付に係る負債	2,470	2,266
繰延税金負債	13,886	16,275
その他の非流動負債	1,225	1,219
非流動負債合計	28,335	30,579
負債合計	72,177	72,362
資本		
資本金	13,260	13,260
資本剰余金	29,029	29,041
利益剰余金	151,779	143,730
その他の資本の構成要素	32,023	42,199
自己株式	△15,894	△7,323
親会社の所有者に帰属する持分合計	210,197	220,907
非支配持分	3,285	3,462
資本合計	213,482	224,369
負債及び資本合計	285,659	296,731

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
 (要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	
		%		%
売上収益	49,027	100.0	48,789	100.0
売上原価	△20,346	△41.5	△20,939	△42.9
販売費及び一般管理費	△26,303	△53.6	△25,479	△52.2
その他の収益	608	1.2	446	0.9
その他の費用	△517	△1.1	△90	△0.2
営業利益	2,469	5.0	2,727	5.6
金融収益	986	2.0	1,020	2.1
金融費用	△77	△0.1	△79	△0.2
持分法による投資利益	202	0.4	336	0.7
税引前四半期利益	3,580	7.3	4,004	8.2
法人所得税費用	△1,106	△2.3	△1,119	△2.3
四半期利益	2,474	5.0	2,885	5.9
四半期利益の帰属				
親会社の所有者	2,411	4.9	2,844	5.8
非支配持分	63	0.1	41	0.1
四半期利益	2,474	5.0	2,885	5.9
1株当たり四半期利益				
基本的1株当たり四半期利益(円)	39.28		49.03	
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	39.12		48.82	

（要約四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

科目	前第1四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）
四半期利益	2,474	2,885
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	58	4,083
確定給付制度の再測定	△45	—
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	4	14
純損益に振り替えられることのない項目合計	17	4,097
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	5,360	5,662
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	435	578
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	5,795	6,240
その他の包括利益合計	5,812	10,337
四半期包括利益	8,286	13,222
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	8,136	13,020
非支配持分	150	202
四半期包括利益	8,286	13,222

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

（単位：百万円）

項目	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素	自己株式	合計		
2022年4月1日残高	13,260	29,077	158,940	27,571	△10,858	217,990	2,878	220,868
会計方針の変更による累積的影響額			228			228		228
会計方針の変更を反映した当期首残高	13,260	29,077	159,168	27,571	△10,858	218,218	2,878	221,096
四半期利益			2,411			2,411	63	2,474
その他の包括利益				5,725		5,725	87	5,812
四半期包括利益合計	—	—	2,411	5,725	—	8,136	150	8,286
自己株式の取得					△1,047	△1,047		△1,047
自己株式の消却					2,863	—		—
株式報酬取引		17				17		17
配当金			△1,844			△1,844	△95	△1,939
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△45	45		—		—
所有者との取引額合計	—	17	△4,752	45	1,816	△2,874	△95	△2,969
2022年6月30日残高	13,260	29,094	156,827	33,341	△9,042	223,480	2,933	226,413

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

（単位：百万円）

項目	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素	自己株式	合計		
2023年4月1日残高	13,260	29,029	151,779	32,023	△15,894	210,197	3,285	213,482
四半期利益			2,844			2,844	41	2,885
その他の包括利益				10,176		10,176	161	10,337
四半期包括利益合計	—	—	2,844	10,176	—	13,020	202	13,222
自己株式の取得					△1	△1		△1
自己株式の消却		△0	△8,572		8,572	—		—
配当金			△2,321			△2,321	△99	△2,420
支配継続子会社に対する持分変動		12				12	74	86
所有者との取引額合計	—	12	△10,893	—	8,571	△2,310	△25	△2,335
2023年6月30日残高	13,260	29,041	143,730	42,199	△7,323	220,907	3,462	224,369

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	2,474	2,885
減価償却費及び償却費	2,761	3,008
金融収益	△986	△1,020
金融費用	77	79
持分法による投資損益 (△は益)	△202	△336
法人所得税費用	1,106	1,119
固定資産売却損益 (△は益)	4	37
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△472	827
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△698	△358
その他の資産の増減額 (△は増加)	△302	△368
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△1,707	△2,581
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△707	△1,733
その他の負債の増減額 (△は減少)	1,327	△53
その他	△201	△354
小計	2,474	1,152
利息の受取額	12	48
配当金の受取額	1,157	1,281
利息の支払額	△55	△72
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△751	△1,439
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,837	970
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	71	24
定期預金の預入による支出	△32	△804
有形固定資産の取得による支出	△541	△612
有形固定資産の売却による収入	216	0
無形資産の取得による支出	△724	△384
その他の金融資産の取得による支出	△1	△1
その他の金融資産の売却及び償還による収入	—	37
その他	△16	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,027	△1,756
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	648	658
リース負債の返済による支出	△1,469	△1,439
自己株式の取得による支出	△1,047	△1
親会社の所有者への配当金の支払額	△1,844	△2,321
非支配持分への配当金の支払額	△95	△99
条件付対価の支払額	△684	—
非支配持分への子会社持分売却による収入	—	78
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,491	△3,124
現金及び現金同等物に係る換算差額	935	886
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,746	△3,024
現金及び現金同等物の期首残高	37,485	26,781
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,739	23,757

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループでは、当第1四半期連結会計期間よりIAS第12号「法人所得税」（2021年5月改訂）を適用しております。

IFRS		新設・改訂の概要
IAS第12号	法人所得税（2021年5月改訂）	リース及び廃棄義務に係る繰延税金の会計処理の明確化

この基準の適用により、リース及び廃棄義務のように取引時に同額の将来加算一時差異と将来減算一時差異を生じさせる取引に関する当初認識時の会計処理が明確化され、当該将来加算一時差異と将来減算一時差異について繰延税金負債及び繰延税金資産が連結財政状態計算書にそれぞれ認識されることとなります。

同基準の適用により前連結会計年度の連結財務諸表を遡及修正しております。これにより、要約四半期連結財政状態計算書の前連結会計年度において、繰延税金資産が363百万円増加、利益剰余金が361百万円増加、その他の資本の構成要素が2百万円増加しております。また、要約四半期連結損益計算書の前第1四半期連結累計期間において、法人所得税費用が7百万円減少し、四半期利益が同額増加しております。

なお、上記の基準の適用による累積的影響額が反映されたことにより、要約四半期連結持分変動計算書において、前第1四半期連結累計期間の利益剰余金の期首残高が228百万円増加しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントに関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	連結
	ワコール 事業 (国内)	ワコール 事業 (海外)	ピーチ・ ジョン 事業	計			
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	24,495	18,192	2,952	45,639	3,388	—	49,027
セグメント間の内部売上収益	222	3,713	82	4,017	845	△4,862	—
合計	24,717	21,905	3,034	49,656	4,233	△4,862	49,027
セグメント利益（△損失） (注) 2	810	1,367	384	2,561	△92	—	2,469

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	連結
	ワコール 事業 (国内)	ワコール 事業 (海外)	ピーチ・ ジョン 事業	計			
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	23,774	18,836	2,770	45,380	3,409	—	48,789
セグメント間の内部売上収益	206	3,614	50	3,870	1,220	△5,090	—
合計	23,980	22,450	2,820	49,250	4,629	△5,090	48,789
セグメント利益（注） 2	561	1,887	134	2,582	145	—	2,727

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ルシアン事業、七彩事業等を含みます。

2. セグメント利益（△損失）の合計については、要約四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。  
 なお、営業利益から税引前四半期利益までの調整については、要約四半期連結損益計算書に記載のとおりであります。
3. セグメント間取引は、原価に利益を加算した金額で行われております。

(2) 地域別に関する情報

外部顧客に対する売上収益

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
日本	30,523	29,684
アジア・オセアニア	5,546	6,076
欧米	12,958	13,029
合計	49,027	48,789

(注) 1. 売上収益は連結会社の所在地を基礎とし分類したものであります。

2. 欧米のうち、米国における前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の売上収益は、それぞれ9,508百万円及び9,180百万円であります。